

晃の園だより



暑さと涼しさが交互に顔をだしていた季節の移り変わりも、彼岸花が咲くのにあわせて徐々に秋の気配をはっきりさせてきました。台風や大雨も多く、自然への備えも意識させられながら、それでも一番大事な日々の暮らしを一日また一日とつむいできた9月でした。

そんな暮らしの中の行事のひとつとして先日敬老会が実施され、その時に晃の園では初の試みとなるアニマルセラピーが開催されました。希望された入居者様にセラピー犬として訓練を受けた犬たちが静かに寄り添います。皆さん、犬が近寄ってくると表情を一変させ、何とも言えない素敵な笑顔で触れ合っていたのが印象的でした。

もともと動物が大好きな方や、以前に犬を飼われていた方たちは勿論ですが、どうやらそうでない方にも何かしら感じて頂けた処があるようでした。これを動物のチカラと言ってしまえばそれまでなのですが、人の気持ちに働きかける方法というものは、まだまだたくさんあるのでは…そんなことに気づかせてくれたイベントでした。



駿河会の秋祭り



久しぶりの雨天となった秋祭りは、会場を建物内に移しての開催となりました。それでも例年に負けず多くのお客様にお越しいただき、賑やかに行うことができました。



決して大きくないフロアをメイン会場とし、ゲームやお菓子コーナーなどは廊下に分散しての出店でした。また地元団体様の出店は中庭にテントを張っていただき、窓越しでの販売をお願いしました。メイン会場周辺をはじめいくつかの場所では大変な混雑となり、皆様にご不便をおかけしたことをお詫び申し上げます。



それでも、それぞれの職員による出店が、飾り付けなどを含めて雰囲気良かったことや、団体様の販売も例年規模で実施できたこと、そして出し物が充実していたことから“沢山の人も祭りの賑わい”と感じていただける雰囲気となりました。



天候には恵まれなかった今年の秋祭りでしたが、多くの方にご協力いただき、例年とは一味違う祭りとして記憶に残るイベントになりました。本当にありがとうございました。



思い出の引き出しにふれるコンサート

毎月の音楽療法の講師の方が、ご友人と一緒にコンサートを開催してくださいました。ピアノの演奏にあわせた歌声は、とても力強くそして優しく会場



に響きわたり、入居者様もゆっくりと懐かしい唄の数々を楽しんでいらっしゃいました。



聴くだけでなく歌うことで参加したり、手拍子もつけたりといった具合に、音楽療法の先生ならではの楽しいコンサートは、入居者の皆さんの思い出の引き出しにも沢山触れて終了しました。また次回が楽しみになるコンサートでした。

晃の園では「事業継続計画」の作成を進めています

地震などの災害が起きた場合に備えて、事業所が、従来の防災対策に加え、中核事業の継続・早期復旧を図るために平常時に行うべき活動並びに緊急時（災害時）の対応方法、手段などを事前に取り決めておくのが「事業継続計画」（又はBCP）と呼ばれるものです。晃の園のように、高齢者の方が生活をされている場所では、特に重要なものとなります。



9月には台風などの影響で、晃の園のある中藁科地区にも”避難準備情報”が2度発表されています。でも、いざという時に提供される情報にだけ頼るのでなく、裏山や河川の実際の状況や、Webで公開されている気象・雨量情報の自主的な監視、そして職員体制への対応など、晃の園独自の監視・判断・対応項目を明確にして、災害への備えを強化していきます。



普段の生活から



乾いた洗濯物を入居様が丁寧に畳んでくださいます。毎日の暮らしの中で職員がさせていただくこと、入居者様にさせていただくこと。大切なバランスです。



子供から大人まで、誰もが楽しめる塗り絵。子供っぽく楽しむのも、大人っぽく楽しむのも、それは本人のとらえ方次第…要は楽しむことが肝心！ですね。

私たちの暮らしは、なにげない毎日の積み重ねでできています



厨房の方がユニットで天ぷらを調理してくれました。揚げたての天ぷらは、勿論最高に美味しかったです。（普段の食堂でのちょっと特別な食事のお話でした）

晃の園ショートステイ通信

秋祭りをお楽しみいただきました

十月一日に晃の園で開催された駿河会の秋祭りを、ショートステイのご利用者様にもお楽しみいただきました。雨天のため建物内での開催となり、会場が近くなったので、皆さんにも出かけやすい秋祭りとなりました。



今年はスタンプラリーのチェックポイントがショートステイフロアにも設けられたこともあって、子供たちをはじめ多くのお客様がお見えになり、お祭りの雰囲気を身近に感じていただくことが出来ました。



利用者の皆様には、景品になるゴム飾りや風車などの工作で、準備の段階からご協力をいただきました。祭りの思い出話にも花を咲かせながら作っていただいた数々の景品は、お祭りの盛り上がりの中で、とても喜ばれながら貰われていきました。



皆さんの暮らしを、これからも支え続けるために

特別養護老人ホーム晃の園での暮らしや、晃の園ショートステイご利用者様へのサービスの提供の他、法人内で提供している様々な福祉サービスをこれからも変わりなく提供し続けるために、社会福祉法人駿河会では、今様々な取り組みを実施しています。



福祉フェアへ参加して施設の活動を広報することや、ホームページを整備して、必要な情報を的確に発信することなどもそういった活動のひとつです。晃の園、そして駿河会の様々な発信にご注目ください。



社会福祉法人駿河会 特別養護老人ホーム晃の園 平成 28 年 10 月発行
〒421-1311 静岡県静岡市葵区富沢 1542-39
電話 054-270-1210 ホームページ : <http://www.surugakai.net/hikari/>